



今年の 新米の味は？

〈大久保地区〉

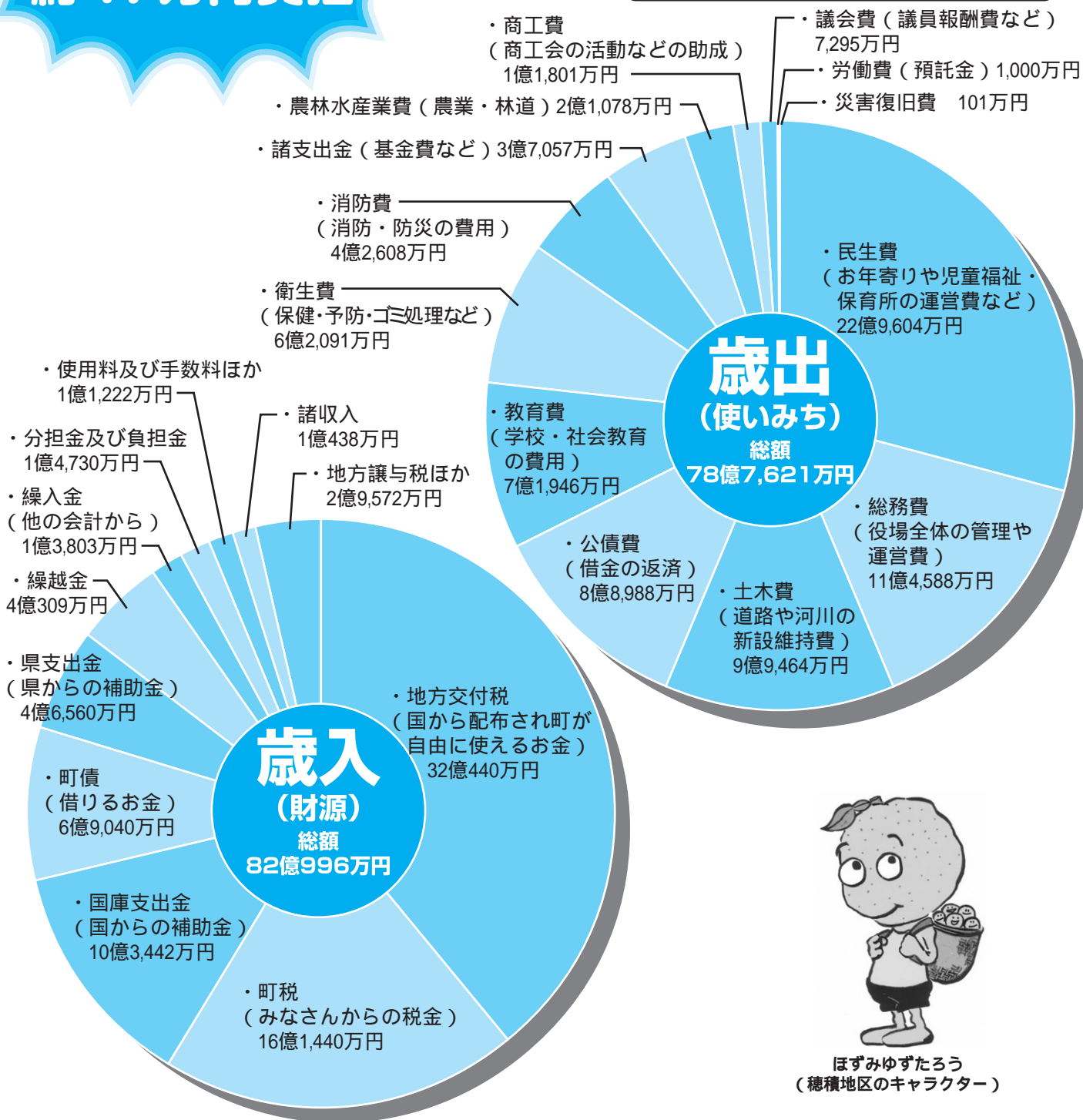
■ 22年度決算報告	2
■ 委員会レポート	4
■ 補正予算	8
■ 一般質問(7議員が登壇)	12
■ 委員会活動報告	19
■ 寄稿 郷土の先人たち	20

された？ 21万円

町民1人あたり
約47万円負担

9月定例議会は9月9日～28日までの20日間開催され、すべて原案通り可決しました。内容は平成22年度決算の審査と条例制定・改正案4件、一般会計を主とする補正予算案11件、工事請負変更契約案1件、報告2件と人事案件1件、町総合計画基本構想および基本計画案について審議しました。

なお、今議会より3つの常任委員会の同時開催を改め、他の常任委員会所属議員が傍聴できるように開催日程を調整しました。これにより、委員外議員より委員会審査において、違う視点から活発な意見が出され、充実した審査が行われました。



平成22年度決算
一般会計

どう生か
78億7,6

平成22年度に実施した主な事業



雇用促進住宅購入

- ・町営バス整備事業
- ・子宮頸がんワクチン予防接種
- ・雇用促進住宅購入(2カ所)
- ・防災無線デジタル化
- ・防災ヘリポート完成(小室)
- ・利根川公園テニスコート改修
- ・富士川親水公園整備
- ・小林公民館完成
- ・鯉沢駅前集会所完成
- ・小型動力ポンプ付積載車購入(第7分団)
- ・大柳川溪谷吊橋ほか改修



利根川公園テニスコート



小室ヘリポート



富士川親水公園



小林公民館



大柳川溪谷吊橋



これで安心

特別会計・事業会計

・国民健康保険	16億1,374万円	・箱原農業集落排水事業	1,299万円
・老人保健	590万円	・鹿島財産区	0万円
・後期高齢者医療	4億3,215万円	・カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区	54万円
・介護保険	15億1,716万円	・活性化事業	1億8,383万円
・介護サービス事業	1億713万円	・峡南地区ことばの教室共同設置	721万円
・奨学金	350万円	・峡南地区充指導主事共同設置	90万円
・簡易水道事業	1億3,251万円	・水道事業会計	
・下水道事業	9億7,005万円	収益的支出	1億4,290万円
・営農飲雑用水事業	309万円	資本的支出	5,862万円

委員会レポート

総務

教育厚生

産業建設

総務常任委員会

人事評価制度の成果は

答 人事評価制度は、職員一人ひとりの意欲の向上を図り、その能力や可能性を引き出し、組織としての総合力を高める事を目的としている。

年度当初に各課の目標を設定する。職員は個人の目標を設定し、年度末に自己評価を行う。課長は課員の中間評価や進捗よく状況の確認および指導を行い、最後に5段階評価による、1次、2次評価を行う。

本年度は人事評価制度の説明会、目標管理研修などを行った。組織目標や職員の目標設定のため、上司と部下の面談を行ったので、これまで以上に話し合う機会が増えた。

今後も、適正な制度の運用を図るための研修を行い、人材育成および効率的な人事配置に活用し、昇給昇格にも反映させていきたい。

徴収員3人 収納状況は

答 担当による訪問徴収、職員による夜間訪問徴収を年4回、管理職による夜間訪問、特に5月は新規の滞納者を重点的に行い、債務が累積しないように対応してきたが、町税全体の徴収率は91・8%で前年比0・1%の減となった。

昨年は、預金差し押え7件、還付金の差し押え30件、土地建物の差し押え17件、タイヤロック7件、その他15件、換価金額416万円であった。

普通財産 貸付収入は

答 旧あやめ寮、法務局の鞆沢支局、雇用促進住宅駐車場、仲町駐車場、北部団地駐車場などである。

監査委員の決算審査意見

今回は合併後初の通年決算で、厳密な前年度比較が不可能なため、決算の評価における歳出の削減、抑制度合いの正確な把握は困難である。

本町では、富士川町版「事業仕分け」が施行実施されているが、今後は「ますほ文化ホール」と「塩の華」の両施設について指定管理者制度の導入をあらためて検討する必要があると考える。

一方、徴税等の滞納の増加は憂慮すべき状態にある。財源確保と公平性の観点から、今後とも強力な取り組みが求められている。

「生涯、快適に暮らせるまちづくり」の前提となる健全財政の維持・確立に向け、積極的な取り組みを期待する。



監査委員の現場視察

小林公民館・駅前地区集会所新築完成!!

窓口無料化による
減額交付金の補填?

問 国保会計操出金235万7千円は何か。

答 町(国保保険者)は医療費を抑制する義務があるが、子ども医療費等の窓口無料化をすることで、医療費の増大につながるの理由から国は交付金を減らした。そのため削減された交付金分を、一般会計から国保会計へ繰り出している。

名作映画が
公演料0円?

問 文化ホールの自主事業、日本映画名作選の公演料が0円なのはなぜか。

答 文化庁助成の事業で、フィルムセンターが所蔵している作品を無料で借りられた。地方でなかなか上映されない優れた映画鑑賞の機会を町民に提供する事業である。入場者の90%は老壮大学の方々。

保育料滞納が

減った?

問 平成21年度の保育料滞納額が557、590円、平成22年度は63、000円と少ないのはなぜか。
答 子ども手当から徴収することを、保護者に承諾してもらい、保育料をいただいたため、滞納額が少なくなった。



新装された駅前地区集会所

借地料問題

問 鯉沢小学校敷地借地料465万円と、鯉沢中学校敷地借地料133万円は毎年払っているが、譲っていただくか、借地料の値下げを折衝できないのか。

答 所有者との交渉が非常に難しい状況である。要望 粘り強く交渉して欲しい。

問 鯉沢プールおよび鯉沢福祉センター(YLO)の借地料141万円は国に支払っているが、購入するための協議は進んでいるのか。

答 今後国との協議を進めたい。

問 保育所駐車場の借地料を、保護者が負担しているところと町が負担している所があり、不公平感がある。

答 来年度の予算では、公平に対応できるよう検討したい。

問 増穂中学校のテニスコート敷地の賃借料は。

答 年間36万円である。



借地となっている鯉沢小中校庭



増穂中テニスコート(一部借地)

暑い時期の健康診断

問 総合健康診断は、7月の暑い時期に始まるが、もっと早く涼しい時期にできないのか。

答 できるだけ早い時期に、実施できるように考慮していきたい。

便利になった

町民図書館

問 町民図書館の管理システムが充実したが、どのようなものか。

答 町民図書館に登録してある本を、インターネットで検索できるので、自宅のパソコンからでも蔵書を探ることができる。

現地視察

増穂中学校特別教室耐震補強大規模改修工事・駅前地区集会所新築工事・かじかわ児童センター建設工事など、6力所の視察を行った結果、良好に管理されていることを確認した。

低い入居率!! 町有住宅

問 現在の町有住宅入居率は。
 答 青柳団地29戸、鰍沢団地42戸。
 要望 入居率が悪いので、今後、単身者の入居など入居枠の拡大や家賃等、条例の見直しも含めて検討して戴きたい。

橋は大丈夫？

問 橋梁点検業務委託が行われているが、問題があったか。
 答 22年度分には早急に修繕を要するところはなかった。
 問 3年計画とのことだが、問題があればどのように修理していくのか。
 答 25年度に修繕計画をたて、緊急性の高いものから修繕していく。



活性が期待される追分館



町有住宅入居率アップを！

問 商工会へ追分館の運営補助として、68万9千円予算付けされていたが、収支決算書には記載されていないが。
 (答 弁なく、22日に調査のため再度委員会を開催した)
 答 商工会からの再度提出された資料を持って差し替えをした。

問 木造住宅耐震化支援事業についての実績は。
 答 耐震診断10戸で耐震工事は1戸。
 要望 シェルター方式を含め、耐震化推進を望む。

遅れている
 地籍調査
 問 地籍調査は町内でのくらい進んでいるか。
 答 旧増穂地区について実施率100%、旧鰍沢地区は実施率47.9%。
 要望 税等にもかかわる事なので推進すべきだ。

問 農業委員会に出された転用申請で、認められなかったケースがあるか。
 答 農振農用地など、転用が認められない土地は、受付時に担当者レベルで審査しているため、22年度はすべて認められた。

現地視察
 富士川親水公園整備工事・東川付け替え工事・雇用促進住宅駐車場舗装工事など7カ所の視察を行った結果、良好に管理されていることを確認した。

要望 青柳長沢線について、農業地なので工事計画は早めに立て、地権者へ連絡をお願いしたい。

問 水道事業で鰍沢地区にアンケート調査を行った結果は。
 答 回答者の約半数の人が統合を望んでいる。

問 活性化事業で職員が5人勤務しているが、多くはないか。
 答 2カ所の運営をローテーションを組んで勤務しているため、ぎりぎりの人数で対応している。

組合議会報告

中巨摩地区 広域事務組合

中巨摩地区広域事務組合議会定例会が開催され、補正予算2件、22年度一般会計・特別会計6事業の決算が可決・認定された。

補正予算の内容は、ごみ処理管理費（鎌田川調停弁護士費用）130万円、老人福祉センター管理費（配管、床改修工事）592万円である。

ごみ処理費負担金は、近年リサイクル化が進み、富士川町では前年より可燃物が2・1%、不燃物が5・3%減となり、ごみの減量化が進んでいる。23年度は町民の皆さまのご協力ですらに減らし、町の負担を軽減しましょう。

富士川町負担金

(単位：千円)

会計名	22年度負担金	23年度負担金
一般会計	307万7	316万0
ごみ処理特別事業	1億9,830万7	1億7,756万1
地区公園特別事業	42万1	76万1
老人福祉特別事業	270万7	314万1
勤労青年特別事業	468万7	558万2
し尿処理特別会計	0	0
合計	2億919万9	1億9,020万5

平成22年度三郡衛生組合決算総括表

会計名	区分	決算額	富士川町負担金
一般会計	歳入	1,762万円	267万円
	歳出	1,533万円	—
し尿処理事業	歳入	3億819万円	4,417万円
	歳出	2億9,760万円	—
火葬事業	歳入	1億9,038万円	1,654万円
	歳出	1億7,891万円	—
合計	歳入	5億1,620万円	—
	歳出	4億9,186万円	—

9月30日、三郡衛生組合議会定例会が開催され、22年度決算認定3件と、組合監査委員、組合公平委員の選任が行われ、原案通り可決した。

三郡衛生組合

広報 研修

御前崎市議会来訪

場所 富士川町本庁舎
日時 8月3日
来訪人数 8人

議会広報モニター
制度を学びに!!

おもに議会広報モニター制度について質問され、お互いに意見交換をしました。



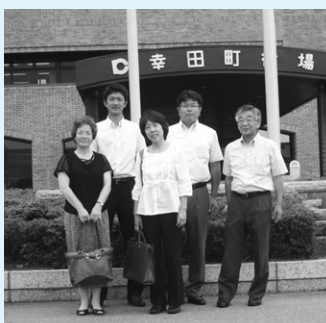
御前崎広報との会議

幸田町議会視察研修

研修場所 愛知県額田郡幸田町議会
日時 7月26・27日
参加人数 広報常任委員会 5人

全国で優秀の
広報を学ぶ!!

全国町村議会広報コンクールで、毎年上位の幸田町と意見交換をし、今後の富士川町議会だよりの作成に大参考になりました。



幸田町広報訪問

広報常任委員会では、誌面の内容や、読みやすさを向上するため委員全員で話し合いを重ね、議会だよりの作成を行っています。

コンビニ交付サービス 4,500万円計上

1億9,824万円の補正

補正 予算

補正予算質疑

問 コンビニ交付共同利用システムに4,500万円を計上しているが、その内容は。

答 住民基本台帳カード(住基カード)を利用し、住民票の写しや印鑑証明書が全国のコンビニ(セブンイレブン)で、取得できるサービス。県内でも5市1町が先行実施。(財)地方自治情報センターから800万円の補助金が下りる。

問 町では電話予約や宅配サービスを行っている。住基カードの交付率は約5%なのに、4,500万円かけ毎年多額の運営費がかかるなど、住民サービスへの貢献度は薄い。本事業導入は、住基カードが普及してからでも遅くはないと思うが。

答 利便性の高いコンビニ交付の導入で、住基カードの普及が図られる。

国の政策として進めており、今後さらに利用目的は広がると思われる。

問 この事業に対して、国からの交付金800万円は今年度限りなのか。

答 今年度が最後。いつかはやらなければならぬ事業なので、今回は良い機会と考える。



問 利根川プール目隠し用フェンスの設置工事費に約300万円計上されている。テニスコートの駐車場を造るために木を切ったことが原因だ。テニスコートのベンチ設置費も盛り込まれているが、1億円もかけてテニスコートを造っているのもっと計画的に進めるべきでは。

答 今のところ、新たな工事のために補正をすることはない。



問 鯉沢児童センターの遊具設置工事費に850万円盛られている。かなり高額なものだが、どんな遊具か。

答 母親たちの要望に応じて設置する。子どもの発達・発育を考慮した複合遊具を予定している。

問 障がい者用トイレ設置工事に100万円とあるが、どこに設置するのか。

答 人工肛門・人工膀胱設置者用トイレを設置する。設置場所は利用者の意見なども聞いて決定したい。



正算 補予

台風15号災害の 緊急補正 さらに 1億1,328万円計上

補正予算質疑

問 台風15号の災害復旧費として、親水公園に1,200万円計上された。現地視察したが、トイレは水を流せば使えるのか、それとも金をかけての修理が必要か。

答 泥を流せばそのまま使える。破損箇所はない。
問 親水公園トイレは、大水が出たときは撤収可能で移動できると聞いている。撤収は誰がどういう判断をするのか。

答 雨量と富士川の水位の関係は想定しにくい。台風15号は12号の直後であり、周辺の保水能力や上流部の支川の流入などが原因し、一気に水位が上がった。判断は建設課ですが、クレーン車を呼んで撤収する間がなく、対応できなかった。今後は関係機関と相談し、台風15号の教訓をもとに、適切な処置をしていきたい。



泥で埋まった親水公園

問 あれだけの被害が出ているのに、今日までの1週間、町から議会に台風15号の被害状況の報告がなかった。町民からの情報で委員会として独自に視察したが、こういう場合の町の体制はどうなっているのか。

答 今回、警戒本部をつくるべきだった。被害状況を議員に伝えられなかったことに関し、瞬時に連絡できる体制づくりを考えていきたい。

追記

本会議の補正予算質疑終了後、コンビニ交付共同利用システムについて、議員の中からさらに疑問が出されました。そのため、2度に行ったり全員協議会を開催し、当局から次のような説明を受けました。

一般財源は1,868万円となる。また、今後2年間は、運営費の2分の1が交付税措置を受けられる予定。手数料が200円(窓口300円)になるなど、例規の整備も必要になるが、12月議会で条例案を提出する。

・本事業を導入することで、住基カードの利便性が高まり、町も住基カードの普及に向け、さまざまな取り組みを行う予定である。

主な補正予算

- ・コンビニ交付共同利用システム導入費 4,536万円
 - ・障がい者用トイレ設置工事費 100万円
 - ・各保育所AEDおよび空気清浄機等購入費 408万円
 - ・十谷観光駐車場調査設計業務 460万円
 - ・平林ヘリポート用地取得費等 1,145万円
 - ・利根川プールフェンス設置工事費等 ... 475万円
- 追加
- ・台風15号災害復旧費 1億1,328万円

改装されたかじかの湯



利用率の向上を!

「かじかの湯」使用料を値下げ

条例改正

かじかの湯の使用料を改正

〔改正点〕

利用率向上のため、これまで区別していた入浴休憩と、入浴のみの料金を統一した。

問 指定管理者からの申し出があり改正したのか。その背景は。

答 施設の大規模改修を行い、7月からのリニューアルオープンにあわせ、飲食部門の強化を図った。管理者の要望で全体の営業収益を上げるため、オープン記念として、試験的に今回提案している改定料金設定で営業を行った。その結果、7月・8月の飲食の売り上げが前年度同期150%、同じく町内の利用者が110%上がった。指定管理者、町民

新料金（町内）

大人	700円	400円
小人	400円	300円

両者にとって使用料の値下げは良いことと思う。

工事請負変更契約

内容

東川付け替えおよび流域下水道管布設替え工事請負契約金の増額（富士川大橋西交差点付近の工事）

・変更前1億9、950万円を2億1、744万円とする。

問 前に1度増額している。不測の事態が起こったためということだが、その内容は。

答 当該契約工事は、前回の議決工事とは別工事。今回は6・7月の台風と集中豪雨で排水が間に合わず、ポンプによる強制排水が必要となったこと。工事を行うに当たって、警察との調整で夜間工事となり、交通整理体制が見込みより必要となったこと。再度、土質検査をしたところ、更なる地盤強化対策が必要となったこと。マンホール工事の安全性確保のため、作業ヤード拡張が必要となったことなどのためである。

報告

富士川町国民保護計画が報告された

内容

平成16年に制定された、武力攻撃事態等における国民保護のための法律「国民保護法」にもとづき、有事

の際の対処計画が制定されたものである。

同意

人権擁護委員を再任

長澤 賢氏（天神中条）

任期満了となる人権擁護委員の再任に同意しました。

総合基本計画を可決

新町の未来を見据えた総合計画を全会一致で可決しました。今計画は、これまでの専門家による策定とは異なり、昨年から各地区で2度の区民対話を重ね、練り上げられたものです。

〔内容〕

1、未来への視点
ここで生きる…生涯を通じて、誇りと愛着を持ち、みんなでのまちで生きていく。
まちが活きる…町の未来をみんなで考え「地域力」を高め、光る個性と魅力あるまちを創っていく。

〔基本構想〕

一、自然息づくきらめきの郷
一、心づるおつふれあいの郷
一、人もの集うときめきの郷

〔将来像〕

暮らしと自然が輝く交流のまち

以上の考えのもと、町民の声を受け、今後8年間、具体的施策を展開していくこととなりました。

（なお、自治法の改正により、総合計画は議会の議決事項から削除されましたが、富士川町議会では、総合計画は町の将来を左右する重要案件であることから、議決事項として新たに条例を制定しました）

どうする!! 私たちの医療

2つの大きな問題

1. 医師不足の解消

中核病院となることで山梨大学医学部付属病院から研修医を含め6人の医師が確保される。

中核病院になるためには？

市川三郷町立病院との統合が必要

県の動き

峡南医療圏が県下でも最低の医療提供の状態であることから、国からの地域医療再生交付金を活用し、山梨県地域医療再生計画（峡南医療圏：救急・在宅医療に重点化）を打ち出した。この交付金25億円の有効期限は、平成22年度から25年度までの4年間である。

町の動き

県の地域医療再生計画では、富士川町や市川三郷町は、峡南の北部地域と位置づけられ、救急医療の重点化を図るとされている。この峡南北部地域の医療課題の調査やその改善方を検討するため、両町で「地域医療体制調査検討委員会」を設置した。

地域医療体制調査検討委員会の動き

委員会では検討結果(案)をとりまとめ両町に提出。両町に速やかに審議し回答するよう求めた。

富士川町議会の動き

調査検討委員会の検討結果(案)に対し、議会の意見集約をするよう町当局から依頼があり次のとおり回答した。

・峡南北部地域の医師の確保や、救急医療体制の整備、病院経営の効率化を構築するためには、市川三郷町立病院と社会保険鵜沢病院が統合し、中核病院を設置する事が望ましい。また、峡南病院が加わることで、この中核病院の更なる充実と効率化を望む。

2. 公的病院としての存続

国の年金問題から端を発し、社会保険庁が解体された結果、社会保険鵜沢病院の存続が危ぶまれる結果となった。

国会は今年6月 議員立法を成立

今までの「独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構」(RFO)は、年金福祉施設等の整理合理化を目的とした組織であったが、病院等の運営を目的とした組織に改組することとし、名称を「独立行政法人地域医療機能推進機構」とした。

しかし...

この「機構」は法律が作られただけで、施行日が決まっていない。公布の日(今年6月)から起算して3年を超えない範囲内において、政令で定める日から施行する。となっている。また、新機構の発足5年を目途として、新機構の経営状況、地域医療の状況等を勘案し、新機構の役割およびあり方について検討する。としている。

さらに、政府はこの機構に対し、緊急の必要がある場合を除き、業務の財源に充てるための交付金は交付しないとはっきり明記している。

法律は成立したが、私たちが危惧している医師不足の解消など、具体的な策は打ち出していない。

このような国の状況下で、鵜沢病院が公的病院として存続の保証はいまだ不透明であり、見通しがつかないのが現在の状況である。

町政を問う 一般質問

問

地域医療問題の 今後の取り組みは

答

病院統合問題は 協議会設置して協議

井上光三 議員



問 地域医療再生計画の進
ちよく状況は。

福祉保健課長 平成22年度
から平成25年度の4年間の
計画で行っている。これま
で25億円の総事業費の12・
8%が執行された。未執行
の事業は計画年度内に実施
予定である。

問 地域医療体制調査検討
委員会の今後の予定は。

福祉保健課長 両町で3病
院統合について意見をまと
めているところである。今
後両町からの正式回答を待
つて、調査検討委員会で検
討し、上部組織の「峡南地
域医療連携協議会」に諮る。
調査検討委員会自体は地域
医療再生計画が終了する平
成25年度まで存続し、地域
医療の問題を検討していく。
問 病院統合問題について
町民への説明が必要だ。

町長 これまで各地区で開
催した総合計画の策定に伴
うワークショップ等でも、
現状や動向を説明してきた。
今後協議会が設置された場合
協議会の進ちよくに合わせ

て説明会等を実施してい
きたい。

問 協議会の設置時期、役
割構成などはどのようにな
るのか。

町長 市川三郷町と富士川
町が、同一見解を示した時
期に協議会を設置する。協



注目される病院

議会は新病院の経営形態等
主要項目を協議する。構成
等は両町で協議するが、地
域医療の代表者や民間の有
識者等も加えていきたい。

問 今後の協議に病院経営
の専門家を加える考えは。

町長 病院の経営、診療等
は専門的立場の意見が必要だ、
協議会で検討することとな
るが、専門部会の設置も考
えている。

問 市川三郷町との協議は、
今後円滑に進められるか。

町長 協議会が設置された
場合は、円滑に進められる
と考える。難しい問題もあ
るが、地域住民の命を守る
ことが重要であり、互助互
譲の精神で問題解決に取り
組む必要がある。

問 病院統合の場合、準備
室等の設置を考えているか。

町長 協議会の事務局も必
要となる、現在、地域医療
体制調査検討委員会に、プ
ロジェクトチームが置かれ
ているが、この組織が準備
室等に移行する形が望まし
いと考えている。

補助金・助成金の基本的考え方は

町民が何を求めているか 必要性で判断

市川 淳子 議員



問 富士川町独自の助成金・補助金制度の基本的な考え方は。

財政課長 補助金は一般的に政策的な補助金、奨励育成的な補助金、そしてイベント活動などの補助金があるが、いずれも地方公共団体が公益上の必要性を認めた場合に支出される。

問 富士川町が必要と認める基準とは何か。

町長 助成金とか補助金というのは大きく分けて、住民生活に関わる生活支援、各種団体の運営に関わる活

動支援の2つと考えている。いずれも町のために有益、公益でなければならぬところが、基本である。

問 これまで志村町長の政策の下、新たに独自の補助金や助成金制度を打ち出してきたが、根底にはどんな思いが込められているのか。

町長 富士川町の住民が何を求めているのか、今この町に何が足りないのか、例えば子どもが少ない中で、不妊治療の助成を県下に先

駆けてやるとか、遅れてしまったが、子どもたちの医療の窓口無料化を中3まで引き上げるとか、この町の実情をみながら、各地域の住民の皆さん、議会の意見を伺いながら、必要性を判断している。

問 補助金・助成金制度はどういうことを補強するところでこの町が元気になれるかがポイントだと思うが、どのように活用されているのか。



補助を利用した太陽光パネル

財政課長 平成23年度当初予算において150件、1億5、300万円を団体や個人に補助金として交付する予定である。

問 補助金の機能がうまく活用されているかの検証は、**企画課長** 一次評価を各課で行い、二次評価を役場の課長で構成している評価検討会議で行い、最終的に住民評価委員会において第三次評価を行っている。

町民にわかりやすい 補助金・助成金制度を

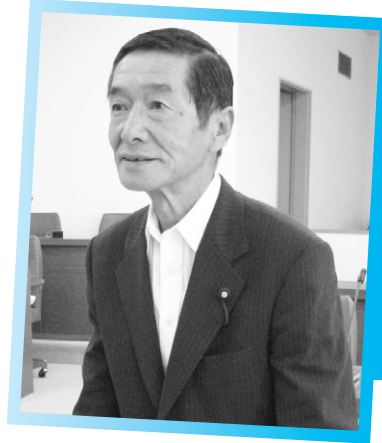
問 富士川町独自の補助金・助成金制度は、質が高く誇るべき内容だと思う。もっと町民にわかりやすく丁寧に、使いやすく簡略化することを考えていくべきだと思つた町民に寄り添った行政を望むが。

町長 まちづくりのポイントは、住民と行政が協働していくことが重要である。これからも補助金の制度、そして中味も含めて検討したいと考えている。

総合検診にピロリ菌検査導入の考えは

問

答 ガン検診実施の指針と動向を注視し判断



堀之内美彦 議員

問 ピロリ菌は、胃ガンの発症要因とする説が有力となっている。胃ガン患者の90%の人が、ピロリ菌に感染しているといわれている。ガン対策の一環として、検診の中にピロリ菌検査の導入が必要と思うが、見解を伺う。

福祉保健課長 ピロリ菌は、感染により慢性胃炎、胃ガンの発症率を高める要因となる報告がされている。国では、ピロリ菌検査の有効性は確認されていないという立場をとっており、町が実施する1次検診において

は検査を推奨していないため、今後、国の検診指針の動向を注視し判断していく。

「釜石の奇跡」に見る防災教育について

問 釜石市は今回の震災で甚大な津波被害を受け、多くの死者・不明者を出した。学校管理下にあった3千人の小中学生は、全員が無事避難することができた。徹底した防災教育が功を奏したものだ。震災を契機にこれからの本町の防災教育のあり方について、どのように考えているのか伺う。

教育長 地域の実情に合った防災教育の重要性や、あらゆる事態を想定した訓練の必要性を感じた。

問 文科省の防災教育支援推進ポータルを活用し、地域の実情に即した防災教育を進める必要があると思うが、当局の考えを伺う。

教育総務課長 防災教育支援事業で作成した教材・資料などの情報が自由に入手でき、非常に参考となる

イトだと思う。今後、必要に応じて活用していくよう薦めていきたい。

公立学校の防災機能整備は

問 災害時応急的な避難所となる、学校施設防災機能の確保について伺う。

教育総務課長 地域の拠点としての学校施設の機能を確保するため、発電機等の資機材、毛布等の備蓄物資の確保、無線機や個別受信



防災教育の一環、避難訓練(釜石市) [公明新聞から転載]

機の配備など、避難所としての機能充実を図っていく。

問 浄水器設置については、**教育総務課長** 防災担当と検討し整備していきたい。

問 マンホールトイレの設置についてはどうか伺う。

教育総務課長 増穂中学校体育館は確保できている。

問 他の学校はどうか。

教育総務課長 増穂小学校は整備されていると思う。他の学校については未整備になっている。

問 地区公民館の耐震化対策は

答 改築、改修には補助制度がある

神田 智 議員



問 平成23年度末までに、各区では地域防災計画を作成している。災害時公民館に本部を設置し、各組・各家庭への対応を計画している。公民館の耐震化対策を、町はどのように考えているのか。
生涯学習課長 町には18の地区公民館がある。昭和56年施行の新耐震基準後に建築された公民館は7館、それ以前のもので11館ある。11館は耐震補強が必要と考えている。

問 11館は、耐震化診断でなく、耐震化工事が必要な建物と考えるが、補助制度について伺う。
生涯学習課長 改築の場合区の人口に1万円を乗じた金額、耐震補強工事の場合完成後20年以上経過した公民館に対し、事業費の3分の1以内で150万円を限度に補助する改修・修繕事業補助金制度がある。

自治会 未加入世帯は
問 自治会活動は、地区の情報伝達や環境保護等なので組への加入は任意となつて
総務課長 その割合と情報伝達は13%くらいだが、未加入者への情報は、広報やくらしのカレンダーなどの、お知らせ配布物を役場窓口に備え希望者に配布している。町のホームページ、防災無線の放送等でも周知に努めている。



耐震化された菴米公民館

問 総合計画の中で、生涯を通じて誇りと愛着を持ち、みんなで支え合つてこの町で生きていく。安心して住できる地域づくり、そのために地域コミュニティ強化による自助、共助、公助を展開するとしている。未加入世帯増加は、地域コミュニティの弱体化につながるが、対策は。
総務課長 未加入世帯が増加することは、地域力が弱まりまちづくりにも影響する。転入届時に組への加入案内を配布しているが、今後も区長、組長と連携して加入促進をしていく。

消防団員確保にサポート事業を
問 消防団員確保対策として、団員に消防団員証を発行して町の施設利用特典、商工会と連携し、割引券等サポート事業の導入を検討してはどうか。
総務課長 東日本大震災以降、地域防災力強化が強く求められており、消防団員の役割は大変重要となっている。今後、町施設の利用特典や、商工会と連携した利用割引制度などのサポート事業について、検討していきたい。

問 病院問題、町民への説明をするべきでは

答 協議会設置後、基本構想が進んだ段階で行う

永井寛子 議員



問 町民は、歙沢病院の存続問題の実態がわからないから、不安を抱いている。今後病院の経営に町が大きく関与するにしても、町民の理解は不可欠だ。形が決まってるからではなく、ここで町民に状況説明をして、一緒に考えてもらうことが必要ではないか。

町長 今の時点では協議会もできていないため、説明する時期ではないと考える。今後、協議会を設置し、そのなかで決まったことを説明していきたい。

問 市川三郷町との間で、

やつと「統合」という形の方が決まったが、これまでのところ、両町の意思疎通は順調とは言いがたく、今後の話し合いも難航が予想される。この問題について町長同士、膝を詰めて話し合ったことはあるのか。

町長 話し合いの結果、この地域の医師不足や、脆弱な救急医療体制などを検討する場として、検討委員会を立ち上げた経緯がある。町長同士、今後の方向性については、認識が一致して



町民の関心が高い病院問題

いると考えている。

問 町民が一番心配しているのは、町が関与することにより、経済的負担が町民に大きいのしかかってくるかもしれないということだ。リスクを避けるためにも、あらゆる角度から調査研究すべきだと思つた。

町長 経営形態などは、協議会の中で議論することになるが、その中には専門家に入ってもらったり、全国の事例なども参考に、医師が確保できれば、あ

る程度の収益は出てくる。それほど長い時間をかけずに赤字解消はできると思う。

問 運営主体がどこになるか、選択肢はいろいろあると思うが、今回のようなそれぞれ経営形態の違う病院統合の場合、買い取るという方法しかないのか。

町長 新法が成立し、社会保険病院がどうなるのか国へ聞きに行った。国は、病院経営は個々に考えてほしく、赤字補てんはないといっており、このままだと歙沢病院は潰れるしかない。買うか買わないかなども、これからの協議の中で決まることである。

誰もが暮らしやすい街に

問 車いす利用者から、本町の障がい者用トイレが使いにくいという声が届いた。庁舎の二階に行くにも問題がある。改善策を伺う。

町長 今後ユニバーサルデザインを考えを取り入れながら、課題の解消に取り組む。

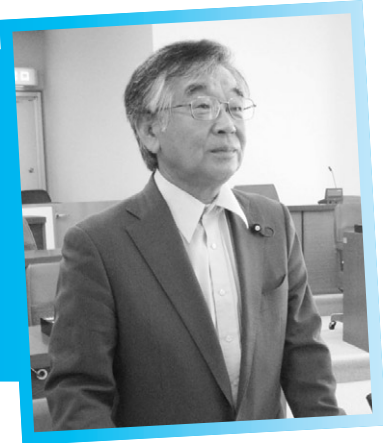
問

長沢排水機場の整備は

答

内水対策のシミュレーションをしている

齊藤 欽也 議員



問 合併説明会のとき、「排水機場ができないと困る」と言っていたが、その後の進展状況は。

農林振興課長 長沢排水機場は昭和51年に完成し、35年を経過している。

近年は長沢川や横川の改修があり、排水操作をしたのは平成14年が最後である。施設の老朽化が進み、排水能力の低下が心配されるので、近代的な排水機場への改修を考えている。

内水被害、排水能力などの検討のため、山梨県に内水対策のシミュレーション

を実施してもらっている。
問 シミュレーションはいつころ出るのか。

農林振興課長 57災害の数値を基準に、シミュレーションをお願いしていたが、57災害の被害は甚大であったが、雨量（時間雨量で25ミリ、24時間220ミリ）は、たいした事がなかった。近年の

を基に、シミュレーションの中間報告を受けているが、仕上がった段階で地元対策と数値を協議したい。

ゲリラ豪雨を考えると疑問があり、再検討を依頼する。
問 その後の整備計画の進め方は。
町長 シミュレーションの中間報告を受けているが、仕上がった段階で地元対策と数値を協議したい。



くり返すな57年災害



ざるを得ないと考えている。事業主体・施設規模・財源確保の見通しを立ててから、実施時期を決めたい。

問 シミュレーションは一年もあればできる。この問題は「合併が必要である」との理由のひとつ。8年間の町総合計画の実施計画に盛り込むべきではないか。

町長 禹之瀬の開削により、富士川の流は良くなったが、必要である。今回の実施計画には間に合わないが、計画は毎年見直しするので、その中に織り込みたい。

中込新教育委員長の基本的考え方を伺う

〔質問事項〕

- ・ 教育振興基本計画策定の考え方と姿勢は。
- ・ ゆとり教育からの転換と、小学校の外国語活動、中学校体育への武道の導入、その目的と意味は。
- ・ 新たな価値観について。
- ・ 生きる力を育む、個を強くするとは何か。

問 木材需要拡大に ペレットストーブ助成制度を

答 町民の要望があれば 意向に沿い考える

秋山 貢 議員



問 長野県では14市4町4村が、県の認定している信州型ペレットストーブの導入に対し補助している。

山梨県でも木質バイオマス推進計画を策定して、持続可能な社会の実現や地球温暖化防止、雇用の創出や林業・木材産業の活性化、森林整備の促進につながる木質バイオマスの活用を積極的に進めている。薪も使えるペレットストーブの町内住宅への設置に、助成制度を考えているか。

町長 長野県ではペンションを中心に、薪ストーブの

普及が図られている。

町では公共施設に木質バイオマスのストーブを設置しているところもある。これから造る道の駅も、全部それで賄えるわけではないがメインのところには設置していきたいと考えている。

現在、県で議論されている森林環境税の中で、県産材の利用促進と、林内に残されている未利用の木質バイオマス資源の活用を促進していくと、5年間で6千万円ほどの経費を盛り予定になっている。

その中身については、個人的に助成されるのか、公共施設に利用したときに県が一部助成してくれるのか分からない。普及促進をまず地方公共団体がやる。そして町民の要望があれば、意向に沿うような形で10万円になるのか、5万円になるのか分からないが、助成は考えていきたい。

町内3筋に セラピーロードを

問 平林、穂積、五開の町内3筋に、セラピーロードを事業化することにより、都心からの集客が見込まれ、雇用の機会も増えると考えらるが。

町長 私たちは森林からさまざまな恩恵を受けている。そのひとつに癒やし効果がある。この効果につき、NPO法人が認定したセラピーロードと呼ばれる登山道、遊歩道が全国各地にある。

山梨市の西沢溪谷もセラピーロードが認定されている。

本町においても平林、穂積、五開地区に自然景観が素晴らしいポイントがいくつかある。ここを訪れることにより、健康づくりや癒やしの効果も受けられる。これらの登山道、遊歩道の整備については、ルートや内容を現在調査中である。

今後、この調査をもとに森林に関心を持っていただけるよう、森林浴も可能なトレッキングコースを整備したい。



林業振興にペレットストーブを

委員会活動報告

議会休会中、議員は何をしているの？日常の活動をお伝えします。

教育厚生常任委員会

昨年度は、町内7小学校を訪問し、学校の現状、保護者からのご意見を予算に反映できるよう取り組みました。

今年度は、幼児教育に目を向け、各公立・私立の園が特徴をもって子どもたちを育てている現状を知り、多様な人材の輩出に大きな影響をもたらす幼児教育の重要性を、あらためて実感いたしました。

7月～9月の
会議日数

常任委員会 15回
全員協議会 3回
特別委員会 4回

公立保育所

4つの保育所の保護者との懇談会では、保育園の送り迎え時に使用する駐車場を保護者会で借りている所があり、9月議会の委員会審査の席上、不公平感のない対応を町に要望しました。



たんぽぽ 子どもの家



日課である「お散歩」では、おたまじゃくしをすくったり、バッタを捕まえたり...、自然の中での体験が子どもの感性を育てています。

峡南幼稚園

縦割りクラスで異年齢の環境をつくり、子どもの内面から湧き上がってくる自主性や主体性を大切に見守り、育てる教育をしています。



産業建設・教育厚生合同現地視察

9月定例会中、台風15号が直撃、町内各地で災害が発生。
早急な対応で、定例会最終日に1億1,328万円の追加補正。



土砂崩落個所の視察



崩落した大法師公園



泥に埋まったふれあい公園

委員会の担当個所を合同で視察、議会で質疑をし、予算を可決しました。

郷土の先人たち

山梨が生んだ偉大な言論人 石橋湛山

言うべきか
言わざるべきか

昌福寺住職
岩間 湛教

たとえ一言でも言い出せば、父母や兄弟に「難」がふりかかる。かといって、知っているながらそのことを口にしなければ、仏菩薩が衆生を憐れむ心に、背くことになつてしまつのではないか。法華経や涅槃経などの教えに照らし、言うべきか言わざるべきか、二つの道を考え、知つていて言ひ出さなければ、今の人生では何事も起こらないにしても後の世に必ず無間地獄に墮ちてしまつた。しかし、もし言い出したなら、正道を妨げる煩惱・業障・報障という三障や、衆生を悪道にひき入れる煩惱・五陰魔・死魔・自在天魔という四魔が、次々と襲ってくる。二つの道のうち苦難を恐れず、真実を言い出す道に身を任せようか。しかし、権力からの迫害が現実となつたとき、当初の信念を失つてしまふくらいなら、始めから思いとどまるべきだろうか。

これは、政治批判を訴えはじめた直前の石橋湛山の心の中ではなく、弾圧を恐れず北条時頼に『立正安国論』を提出し、鎌倉幕府の政治を正そうとした日蓮聖人が、それを決心するまで逡巡した胸の内を回想した『開目抄』の一説の訳である。石橋湛山は『私の履歴書』で、父が若くして弟子入りした昌福寺という日蓮宗の寺院には、古くから「湛」の字を名につけるならわしがあり、父は「湛誓」と称し、湛山もこの理由で中学を卒業するころ「湛山」と改名した。

この親子の血縁よりも重く深い法華経の教えの縁を、鶴屋南北は戯作「法懸松成田利剣」で、次のように劇的に描写する。子・日蓮「さても父上なさけなや。今宵に限る死相あり。是ぞ親子のこの世の別れ」。父・頼国「やがて拓むる宗門の、門出を祝う八の巻」。子「われは是にて剃髪の、産湯の水を香そりの」。父「その剃髪はそれがしが、我子ながらも妙法を、ひろむる行者が七字の文」。

今度こそ強い真の仏道を求める心を起こし、決して信念をゆるがすまい。これは、政治批判を訴えはじめた直前の石橋湛山の心の中ではなく、弾圧を恐れず北条時頼に『立正安国論』を提出し、鎌倉幕府の政治を正そうとした日蓮聖人が、それを決心するまで逡巡した胸の内を回想した『開目抄』の一説の訳である。石橋湛山は『私の履歴書』で、父が若くして弟子入りした昌福寺という日蓮宗の寺院には、古くから「湛」の字を名につけるならわしがあり、父は「湛誓」と称し、湛山もこの理由で中学を卒業するころ「湛山」と改名した。

石橋湛山 1884(明治17)年9月25日生 1885(明治18)年に父・湛誓が昌福寺住職へ転じ、母親のきんと共に甲府市稲門(現・甲府市伊勢2丁目)に転居 1889(明治22)年、甲府市立稲門尋常小学校入学。3年生の時に増穂小学校に転校しました。 1894(明治27)年、中巨摩郡鏡中条村(現・南アルプス市)長遠寺の住職・望月日顕(後に身延山久遠寺83世法主)に預けられ、現在の甲府一高、早稲田大学と進み、毎日新聞社、東洋経済新聞社などで活躍した後、政治家の道に進みました。昭和31年、第55代・内閣総理大臣に就任しましたが、病に倒れ、わずか2カ月で辞任。出処進退の潔さに感動し、人々は早い退陣を惜しんだといひます。

子「三界夢庵の身となって、宗門拓むる大行者、父の最期をそのままに」。父「見捨てる智職はずなわち佛勅。それを子に持ち、それがしは、九族天に」。子「未来成仏」。父「あの世へおもむく、この親へ」。子「法の奇特は眼前に。最後の御姿、末世に残す」。父「妙法蓮華の」。子「花咲く門出」。拍子幕

議会クイズ

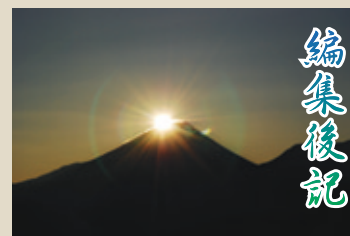
- 問題1. 9月議会の開催日数は?
- 問題2. 長沢排水機場の経過年数は?
- 問題3. 緊急災害復旧対策の補正予算は何万円?

《景品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。
《応募要領》必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。

・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
・年齢 ・電話番号 ・議会広報の感想

《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中条1134
富士川町議会事務局 行
《締め切り》平成23年11月末日(当日消印有効)
《当選者の発表》商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

前回の答え(1)小室へりポート(2)4地区(3)688万円
厳正なる抽選の結果、3名の方に賞品を発送しました。



編集後記

「最大級の警戒を」と呼びかけられた台風15号、名古屋では庄内川が氾濫し200万人に避難勧告が出されました。どこへ避難すれば良いのか戸惑います。「想定外の」大震災、天災・人災、いつかきります。北極圏では1,000kmのオゾンホールが初めて確認されました。忘れがちな「自然と向き合う」事の大切さを強く感じます。(斉藤欽也)

「最大級の警戒を」と呼びかけられた台風15号、名古屋では庄内川が氾濫し200万人に避難勧告が出されました。どこへ避難すれば良いのか戸惑います。「想定外の」大震災、天災・人災、いつかきります。北極圏では1,000kmのオゾンホールが初めて確認されました。忘れがちな「自然と向き合う」事の大切さを強く感じます。(斉藤欽也)